案件名称: ASP・SaaS型大容量ファイル送受信サービス利用(長期継続)(その2)

項番	資料名称	該当頁	該 当 項 目	質 問 内 容	回答
1	資料2:仕様書	5	5.3 ネットワークの環境	本サービスのために発注者のネットワーク環境を変更 することはないので、留意すること。 ⇒当サービスはWebブラウザからインターネット経由で アクセスをして頂きますが、ご利用頂くにあたり、サー ビスのドメイン情報をホワイトリスト登録して頂く必要が 出てきた場合、そちらのご対応は大阪市様にお願い 出来ますでしょうか?	本サービス利用のURLがWebフィルタリングソフトによりブロックされる場合は本市でのホワイトリスト登録は可能です。
2	資料2:仕様書	6	6.3.1 ディスク容量	ちらは各ご利用ユーザーではなく、管理者のみが過去に遡って確認、ダウンロードが出来ます。	管理者だけでなくユーザ(送信者)についても仕様書「6.3.6 管理機能 (2) 送受信ファイル管理機能」及び「6.3.6 管理機能(3) 送受信履歴管 理機能」のとおり、ユーザ(送信者)が送受信したファイルの管理すること が可能であり、ファイルの閲覧、削除ができる必要があるため、ご記載の 内容では仕様を満たしていないと判断します。
3	資料2:仕様書	6	6.3.2 ユーザID及び権 限設定	・送信者用ユーザID 1000ユーザ以上 ・管理者用ユーザID 1ユーザ以上 これらのユーザIDが同時に利用できること。 ⇒ご利用される全てのユーザーの月間の送信総数は どれ位になりますでしょうか? また添付をするファイルの大半のデータサイズや平均 値が分かりましたら、教えて頂けますでしょうか。	直近12ヶ月(令和6年9月~令和7年8月)の平均は以下のとおりです。 なお、現在利用中のサービスのデータ保存容量は30GBとなります。 月間の送信総数:約4,800通 月間送受信容量:約300GB 1送信あたりの平均ファイルサイズ:約70MB
4	資料2:仕様書	6	6.3.2 ユーザID及び権 限設定	発注者の職員は所属する課等の組織に付与された送信者用ユーザIDを共用し、サービスを利用するものとする。 ⇒送信者用ユーザIDを共用とは大阪市様で所有をされているグループアドレスを使った運用になりますでしょうか?	受注者から提供される本サービス利用専用IDでの運用を想定しています。
5	資料2:仕様書	6	6.3.2 ユーザID及び権 限設定	管理者用ユーザIDは全てのユーザIDの追加・変更・削除等および全てのユーザが送受信したファイルに関する処理をおこなえるものとする。 ⇒管理者用ユーザーは、全てのユーザーが送受信をしたメール内容の確認と、データ保持期間内のダウンロードが可能ですが、この内容で満たしておりますか?	質問に記載されている内容のほか、管理者用ユーザIDで全てのユーザIDの追加・変更・削除等及び全てのユーザが送受信したファイルに関する処理(閲覧・削除)を行うことができるのであれば、仕様を満たしていると判断します。
6	資料2:仕様書	6	6.3.4 送信者向け機能	1回の送信につき、宛先のメールアドレスは同時に25 件以上設定できること。 ⇒同時に20件まで設定と送信が出来ます。もし20件を 超えた場合、複数回の送信が必要になりますが、この 部分の閾値のご検討は頂けないでしょうか?	仕様書に記載の閾値の変更はできません。
7	資料2:仕様書	7	6.3.4 送信者向け機能 (6)パスワード変更機 能	送信者が自己のパスワードを変更できること。 ⇒これは自己のユーザーIDのパスワードを自分で変 更できるとの意味になりますでしょうか?	お見込みのとおりです。
8	資料2:仕様書	7	6.3.5 受信者向け機能 (1)ファイルのダウン ロード機能	1回の送信につき、受信者1人で最大5回迄のダウンロードが出来る仕様ですが、この内容で問題ありませんでしょうか? なお、複数人に送信をした場合は、それぞれの受信者が最大5回迄のダウンロードが出来ます。	問題ありません。
9	資料2:仕様書	7	6.3.6 管理機能 (1)ユーザ管理機能	送信者用ユーザを個別登録及び一括登録ができることとし、一括登録はサービス提供事業者への依頼も可とする。 ⇒サービス提供事業者への依頼の場合、頻度はどれくらいになりますでしょうか? またその作業につきましては、今回のご提示金額内に含めるとの事になりますでしょうか?	サービス提供事業者への一括登録依頼は、初期設定の1回を想定しています。 なお、当該作業にかかる費用は契約金額内に含むものとします。

項番	資料名称	該当	該 当 項 目	質 問 内 容	回 答
10	資料2:仕様書	8	6.3.6 管理機能 (2)送受信ファイル管 理機能	送信者は、そのユーザが送受信したファイル、管理者は全てのユーザが送受信したファイルを管理することができ、ファイルの閲覧、削除ができるものとする。 ⇒管理者が専用画面より、ユーザーの送受信したファイルを閲覧することが出来、送信時のみファイルの削除(送信取り消し)が出来ますが、この運用で問題ないでしょうか?またファイル取り消しは、受信先がダウンロードをする前までの操作保証となります。	ユーザ(送信者)についても、仕様書「6.3.6 管理機能(2)送受信ファイル管理機能」のとおり、ユーザが送受信したファイルを閲覧、削除できる必要があります。
11	資料2:仕様書	8	6.3.6 管理機能 (3) 送受信履歴管理機 能	可能でなること	ユーザ(送信者)についても、仕様書「6.3.6 管理機能(3)送受信履歴管理機能」のとおり、ユーザが送受信したファイルに関し、送信日時、送信ファイル名、受信者、ダウンロード日時等の履歴を蓄積し、閲覧、検索、CSV等でのダウンロードできる必要があります。
12	資料2:仕様書	8	7.3 マニュアル等の提供について	サービスの機能や操作方法を説明したマニュアル等を発注者あてデータの送付により提供すること。 ⇒マニュアルはオンラインマニュアルとなっており、 サービス上の画面から参照が出来ます。このような配 布方法で問題ありませんでしょうか?	オンラインマニュアルのダウンロードが可能であれば問題ありません。
13	資料2:仕様書	9	8.1 セキュリティの基本 要件	セキュリティに関する体制を整備し、セキュリティ対策 の実施責任者を予め定め、書面の提出により発注者 に通知すること。 ⇒実施責任者は、サービス提供側の法人の責任者情報で大丈夫でしょうか?	法人の責任者がセキュリティ対策の実施責任者ということであれば問題 ありません。
14	資料2:仕様書	9	8.1 セキュリティの基本 要件	・セキュリティに関する教育訓練を定期的に実施すること。 →教育訓練は大阪市役所様ではなく、サービス提供側の実務メンバーのセキュリティ教育訓練との意味で大丈夫でしょうか?	お見込みのとおりです。
15	資料2:仕様書	9	8.2.1 機器設備の設置 場所	機器設備は、日本国内のTier2以上のデータセンター内にあること。 ⇒Microsoftの国内データセンターで管理をしておりますが、Tier指標の提示がありません。	Tier2以上のデータセンター内にある必要があります。
16	資料3:サービス(ライセンス)利用契約書(長期継続)	1	月額利用料金		資料3:サービス(ライセンス)利用契約書(長期継続)第17条第1項及び 第3項に記載のとおり、各年度の利用期間満了後に発注者が行う検査に 合格した場合、年額一括の請求は可能です。 また、本契約は総価契約であるため、仕様変更等による契約変更を行わ ない限り利用料金は定額となります。 そのため、使用量に応じて変動するような従量課金型の請求には対応で きません。